

新人教育計画

時期	目標	課題	勤務	内容	備考
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としての自覚を持ち、当院の全体像を理解 ・接遇の基本を身に付ける 	新人オリエンテーション 清潔・不潔操作 滅菌操作 消毒法の理解 褥瘡処置の理解	日勤 (平日)	<ul style="list-style-type: none"> ・新人オリエンテーション 師長及び看護・介護科各主任講師担当 ・病棟オリエンテーション(師長) 病棟案内・紹介・勤務体制・業務の流れについて ・処置担当者について、褥瘡その他の処置を介助・実施処置後の滅菌物の処理 褥瘡および創処置 軟膏処置 カテーテル交換 衛生材料の準備 滅菌処理 ・物品の場所を覚える 	<ul style="list-style-type: none"> ・新人看護目標チェックシート記載開始。毎月、自己の目標などを決めて取り組み、自己評価を行う。シートは月1回提出し、師長・主任・指導者が目を通しコメント ・看護技術見学・実施日記入表は、初回見学日・初回実施日を記入し毎日提出 ・高齢者看護・介護の特殊性を理解 ・看護科勉強会の実施
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・看護・介護業務の流れを理解 ・基本的な技術の習得 ・業務の中での優先順位がわかる ・Nsとして必要な情報を得て、適切な報告ができ、看護の実践に生かす ・積極性を持って看護に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・日勤業務の理解・把握 ・CWとの連携の必要性を理解 	日勤 (GW以降に 日祝日出勤)	<ul style="list-style-type: none"> ・Ns1名について共に居室担当 申し送りを聞き、自分なりに記録 VS測定、温冷罨法、点眼、湿布、軟膏処置看護記録記入、温度板記入、入退院の対応 与薬、血管確保、注射(s c, im, iv) 点滴管理、輸血、吸引(気切・口鼻腔) 経管栄養の管理(MT・胃ろう・腸ろう) ・CWについて1日の流れを理解(2日間) 食事介助、オムツ交換 排泄介助 口腔ケア、清拭(部分、陰部) 入浴介助(器械浴・一般浴) 環境整備、体位変換、トランスファー ベッドメイキング、手浴、足浴 *状況により見学→実践する 1～3部屋を部分的に受け持つ ・看護計画の記入の仕方を覚える指導者とカーデックスをダブルで担当 ・業務の中で、優先すべきことは何か、無駄な動きはないか、看護目標チェックシートを使いながら振り返りを行う→自分の問題点を明確にする ・チェックリストにより、未経験項目のチェックをし、今後の方向性を確認しておく 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースカンファレンスの見学→6月からダブルで担当 ・1週2週間はダブルで部屋持ちをしながら軽症部屋から順番に受け持ち、患者様の把握をし、VS測定をする最終的に全部屋を経験 ・3週目以降新人がメインとなり申し送りまで担当 ・チェックリストは主に指導者がチェックし、主任が確認

時 期	目 標	課 題	勤 務	内 容	備 考
6月	・業務時間内で終了できるような時間配分ができる	<ul style="list-style-type: none"> 一人で居室担当 申し送りを自分なりにまとめ簡潔に申し送る 	日勤	<ul style="list-style-type: none"> ダブルでケアプランのアセスメント表のチェック 計画立案（メインは先輩Ns） 一人で申し送りを聞く・申し送りをする 看護記録を的確に書く・正確な温度板の記入 入院を受ける・・・アナムネ聴取、入院時の書類 看護計画の立案 リーダーへの報告・指示への対応・退院時の記録 看護計画の記入 ケアプランのアセスメント表のチェック・計画立案をメインで行う（先輩Nsがサブでフォロー） 	<ul style="list-style-type: none"> 居室担当を完全に一人で持ち、指示受け、申し送りまでの責任を持つ（報告を含む）
7月	<ul style="list-style-type: none"> 日勤業務の独り立ちが出来る （急変時の判断・対応が出来る） 夜勤業務の理解、実践 	<ul style="list-style-type: none"> 重症・休日の居室担当 夜勤業務の流れを理解 夜勤で行われている業務の理解・実践・時間内に業務を終了 	日勤 日勤+ 夜勤	<ul style="list-style-type: none"> リーダー不在の日の居室担当者としての動きを理解 休日の業務の流れを理解 休日の居室担当を行う 状況により医師に自ら報告を行い指示を受け実施 リーダーからの指示を正しく実施し報告 夜勤の流れを理解するため、指導者とペアで経験 1回目…業務把握のための見学 2回目～4回目まではメインで担当し、先輩Ns.が付いてフォロー 5回目から一人で夜勤行う サマリーの記載 サマリーの種類を知る・最初の1～2回は練習で書く 主任への報告・確認、不足事項のアドバイスを受ける 	<ul style="list-style-type: none"> ※卒後1年目3ヵ月研修 チェックリスト

時 期	目 標	課 題	勤 務	内 容	備 考
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・チームメンバーとしての役割を果たす ・夜勤業務のやり立ち 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護計画を立案し、計画に基づいた看護を実践 ・独りで夜勤が行える 	日勤+ 夜勤	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム全体を把握した動きが出来ているか自己を振り返る ・担当カーデックスに責任を持って計画・実践 ・評価を行う ・サマリーの記載 	<ul style="list-style-type: none"> ※卒後二年目研修 チェックリスト・研究レポート
9 月 10 月 11 月 12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・Nsとしての知識・技術の修得 ・社会人、組織の一員としての自覚を持つ ・ケアプラン立案 		日勤+ 夜勤	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースカンファレンス・ミニカンファレンスへの参加 ・ケアプランの立案・評価をメインとなり、CWと協力 ・チェックリストにより、未経験項目のチェックをし、今後の方向性を確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者看護・介護の特殊性を理解した計画、立案を行えるようにアドバイス ※卒後一年目6ヵ月研修 チェックリスト ・勤務姿勢チェックシート記入(卒後1~3年) ※卒後三年目研修(12月) チェックリスト・研究レポート
1 月 2 月		<ul style="list-style-type: none"> ・フリー業務の体験 	日勤+ 夜勤	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者とペアでフリー業務を経験 ・主任(リーダー)への報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーNsが夜勤の責任者であることの意味が理解できるように指導者は指導 ・夜勤がフロア担当だけの場合でも病棟内で何かあった時には必ずフリーNsに報告・相談し対処する自己の判断のみで行動しないように指導
3 月			日勤+ 夜勤	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストにより、未経験項目のチェックをし、今後の方向性を確認しておく 	<ul style="list-style-type: none"> ※卒後一年目1年研修 チェックリスト・研究レポート ・夜勤は上記同様 ・勤務姿勢チェックシート記入(卒後1~3年)